

1.

歩いていると、10mほど先、車道の脇に白い猫の死骸が落ちているのが見えた。それをあまり見ないように歩き、だんだんと近づいていくと、視界の隅でその死骸がぴくりと動く感じがしたのでおもわず見てみると、それは猫の死骸ではなくタオルだった。すれ違う車の風にあおられて動いているだけだった。そのとき、大きなトラックが脇を通り抜け、タオルがぶわつとめくれあがった。そこに何か絵がプリントされているのが見えた。よく見てみると、それは正面を向いた猫のイラストだった。

2.

チャック・ノリスは、携帯電話を回し蹴りして、アドレス帳の全員を殺すことが出来る



3.

小さい頃に友達と遊んでいて、友達の靴を汚してしまった事がある。その時彼は怒って、僕に「ずいぶん前に買ったばかりの靴なのに！」と言ったのを今でも覚えている。文法として、1語1語の単語の繋がり、それぞれ接続可能で、間違いが無いのだけれども、実際にその靴がいつ購入されたもので、新しい靴なのか、古い靴なのかがまったく判断がつかず、時制が宙づりになってしまっていた。けれども、なんとなく「ずいぶん前に買ったけれども、まだ履いた事がない、おろしたての靴だったのに」という事なんじゃないかと想像する事はできた。

4.

アナログのカメラに熱中していた時期があって、その時にとった写真のプリントやフィルムがずいぶんな量になっていた。試しに重さを量ってみると、5kgほどあった。この重さを何かに利用できるだろうか。例えば漬け物石に。ただの石で漬けた漬け物と、写真の重さで漬けた漬け物は、味が異なるだろうか？あるいは写真に映っている被写体の違いによっても味は変化するだろうか？